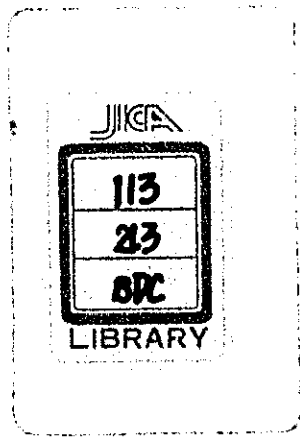


CIAST案内



目 次

<p>1. CIASTについて 1</p> <p>2. CIASTプロジェクトの概要 2</p> <p>3. 組織 3</p> <p>4. 職業訓練モジュール 4</p> <p>5. 職業訓練実施状況 8</p> <p>6. 職業訓練実施計画 8</p> <p>7. 日本人専門家の派遣 8</p>	<p>8. カウンターパートの日本研修 8</p> <p>9. 1年間の主な行事 9</p> <p>10. 建物建設・機材供与の状況 10</p> <p>11. 主な施設 11</p> <p>12. 建物配置図 12</p> <p>13. CIAST所在地 13</p>
---	---

国際協力事業団	
受入 月日 '86. 7. 30	113
登録No. 12965	213
	SDC

113
21.3
SDC

1. CIASTについて

The Center for Instructor and Advanced Skill Training (職業訓練指導員・上級技能訓練センター)がCIASTの正式名称であります。

1981年1月、鈴木善幸首相(当時)がASEAN諸国を歴訪して提唱された「ASEAN人づくりへの協力」構想に呼応して、マレーシア側が提案したのが、このCIASTの計画でありました。

マレーシアは1971年以来New Economic Policyのもとに経済の高成長を背景として、貧困の根絶と社会の再編成の実現を目指しておりますが、それには技能労働者の養成が必要であり、それを担う各種訓練施設の頂点にCIASTを位置づけようとしているのです。

さらに、マレーシア国内だけでなく、他のASEAN諸国から受講生を受け入れる計画も進められています。

このCIASTプロジェクトに対して我が国は建物建設(22億円)及び機械設備供与(13億円)を無償資金協力により実施し、また国際協力事業団(JICA)を通じて鋳造から機械、電子、さらに監督技法まで7科14部門の専門家の派遣と、マレーシア人指導員(カウンターパート)の本部研修を中心とする技術協力を行うなど、多方面にわたる協力を行っております。

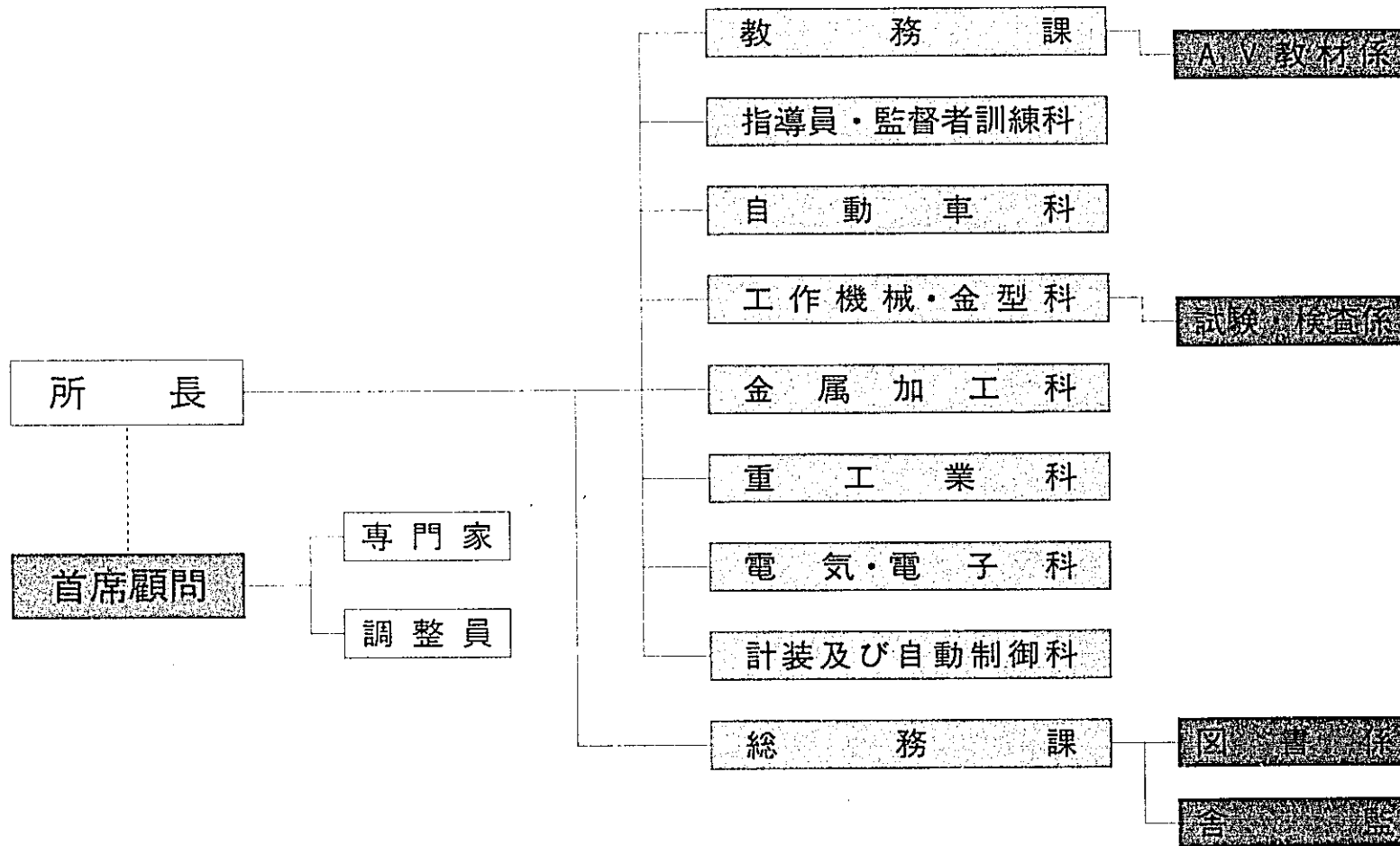
協力期間は1987年8月までの5年間とされておりますが、そのあとマレーシア側だけでさらにこれを運営発展させていくこととされております。



2. CIASTプロジェクトのあゆみ

1981年 1 月	鈴木前内閣総理大臣がアセアン諸国を歴訪し、「アセアン人づくり」への協力構想を提唱
1981年 8 月 }	三次にわたる調査団派遣
1982年 4 月	
1982年 8 月	CIASTプロジェクトに関する討議々事録(RD)署名。技術協力開始
1983年 3 月	カウンターパート日本研修開始
1983年 7 月	日本人専門家派遣開始
1984年 3 月	第一期建築工事、機材据付完了。水、電気供給開始
1984年 5 月	指導員訓練開始
1984年 8 月	上級技能訓練(自動車科)開始
1985年 3 月	第二期建築工事及び機材据付完了
1985年 5 月以降	全科訓練開講

3. 組 織



4. 職業訓練モジュール

A. 指導員及び監督者訓練

(1) 指導技法訓練

モジュール No.	教 科 内 容	期 間
TM 1	a) Trainee Instructor養成コース	6ヵ月
	b) Trade Instructor養成コース	6ヵ月
TM 2	指導員のための基礎指導	2週間
TM 3	技 能 一 分 析	2週間
TM 4	印 刷 教 材	2週間
TM 5	視 聴 覚 教 材	2週間
TM 6	テ ス ト 法	2週間
TM 7	訓 練 管 理	2週間
TM 8	企業内指導員のための 基礎指導技法	2週間
TM 9	職場監督者のための 基礎指導技法	1週間
TM 10	モジュール訓練 システム設計	2週間

主な設備機材

スタジオシステム、調整装置、編集装置、ダビング装置、スライド作成機、AV機材一式

(2) 監督技法訓練

モジュール No.	教 科 内 容	期 間
ST 1	方法及び作業研究	2週間
ST 2	品 質 管 理	2週間
ST 3	生産計画及び管理	2週間
ST 4	メンテナンス管理	2週間
ST 5	作 業 安 全	2週間
ST 6	リーダーシップ及び人間関係	2週間
ST 7	職 場 内 規 律	2週間

主な設備機材

統計品質管理実験用具
QC手法グラフ作成機

B. 上級技能訓練

(1)自動車科

モジュール No.	教 科 内 容	期 間
A 1	ガソリン/ディーゼルエンジン 整 備	8週間
A 2	故 障 分 析	6週間
A 3	各 種 性 能 試 験	6週間
A 4	シ ャ シ ン 整 備	6週間
A 5	車 体 整 備(バスを 除く)	8週間
A 6	車 検	4週間

主な設備機材

エンジン馬力計、シャシダイナモメータ、ボーリングマシン、インジェクションポンプテスター、フレーム修正機、塗装ブース、車両検査機器

(2)工作機械・金型科

モジュール No.	教 科 内 容	期 間
MD 1	金 型 製 作 及 び 保 修	10週間
MD 2	各種工具・治具の 製作及び補修	10週間
MD 3	精密研削等の仕上げ加工	10週間
MD 4	機 械 加 工(NC機械 を含む)	10週間

主な設備機材

NC旋盤、NCフライス盤、ワイヤーカット、型彫放電、倣いフライス盤、輪郭投影研削盤、成形平面研削盤、試験検査室、万能材料試験室、X線検査装置、衝撃試験機、超音波検査機、磁気探傷機

(3)金属加工科

科目	科目内容	期間
F 1	溶接	10週間
F 2	製缶	20週間
F 3	プレス	5週間

主な設備機材

各種アーク溶接機、自動ガス切断機、パワープレス、プレスブレーキ、油圧ギャップシャー、シャーリングマシン

(4)重工業科

科目	科目内容	期間
H 1	鍛造及び熱処理	10週間
H 2	鋳造	10週間
H 3	ダイキャスト	5週間
H 4	インベストメント鋳造	10週間
H 5	ゴム成型技術	5週間
H 6	プラスチック成型技術	8週間

主な設備機材

滴注式ガス雰囲気炉、電気炉、塩浴炉、重油炉、高周波溶解炉、ダイキャストマシン、ワックスインジェクションマシン、脱ロウオートクレーブ、焼成炉、ゴム射出成形機、プラスチック射出成形機、金型自動温度調整機

(5)電気・電子科

科目	内容	期間
EE1	各種リレーの点検及び補修	10週間
EE2	各種モーター類の故障分析及び補修	8週間
EE3	各種モーター類の試験	3週間
EE4	上級ラジオ整備及び補修	5週間
EE5	上級テレビ整備及び補修	5週間
EE6	屋内放送設備の整備及び補修	5週間
EE7	業務用電気・電子機器の整備及び補修	5週間

主な設備機材

高圧受電盤、シーケンス回路組立実習盤、巻線機、乾燥機、カラーTV受信器、TVカメラ、VTR、各種コンピューター

(6)計装及び自動制御科

科目	内容	期間
I-1	工業計測	8週間
I-2	工業計装機器	8週間
I-3	電気(流体)制御	8週間

主な設備機材

熱電対実習装置、測温抵抗体実習装置、圧力測定実習装置、液量実習装置、三段水槽液位制御装置、油圧制御実習装置

5. 職業訓練実施状況(1984年5月～1985年4月)

指導員コース(6ヵ月).....	2コース.....	49人
モジュールコース(2～3週).....	14コース.....	176人
計16コース		225人

6. 職業訓練実施計画(1985年5月～1985年10月)

指導員コース(6ヵ月).....	1コース.....	20人
モジュールコース(2～3週).....	33コース.....	314人
計34コース		334人

7. 日本人専門家の派遣

	1982年度	1983年度	1984年度	1985年度(予定)
短期専門家 (在勤3ヶ月以内)		5名	14名	16名
長期専門家 (在勤3ヶ月以上)	2名	1名	1名	3名

(注：長期専門家の数は毎年度の在勤者数を示す)

8. カウンターパートの日本研修

年度 対象者	1982 年度	1983 年度	1984 年度	1985 年度 (予定)	計
副 公 務 員	2名	—	2名	—	4名
科 長 (大卒)	—	—	2名	3名	5名
高 専 卒	—	—	6名	5名	11名
高 卒	9名	9名	1名	1名	20名
計	11名	9名	11名	9名	40名

9. 1年間の主な行事

1984年9月22日
坂本労働大臣（当時）が来訪され、
記念植樹をされました。



1985年5月8日
藤屋自民党政務調査会長（中曽根総
理特使）が来訪、
視察されました。



1985年3月22日
マレーシア労働大臣Dato Mak Hon
Kan
副労働大臣Dato
William Lye が来
訪されました。



1984年8月13日
上級技能訓練自動車科が開講しまし
た。

10. 建物建設・機材供与の状況

敷地面積……………64,182㎡

第一期

建物建設……………^{千円}1,194,680
建築面積……………5,396㎡
延建築面積……………9,191㎡
機材(無償供与)……………^{千円}382,320
自動車部門……………^{千円}173,470
視聴覚部門……………^{千円}91,230
試験検査部門……………^{千円}77,370
その他……………^{千円}40,250
(製図及び印刷機材)
技術協力供与機材……………^{千円}15,600

第二期

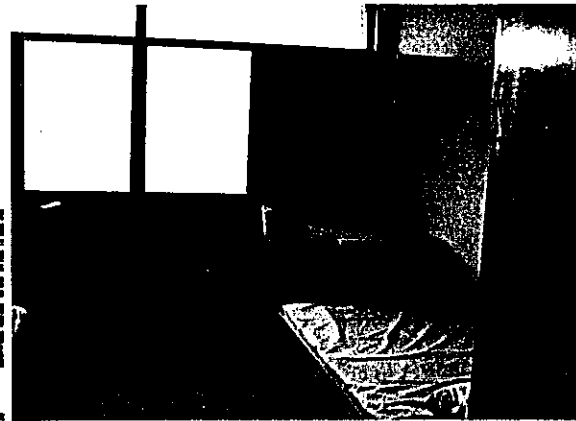
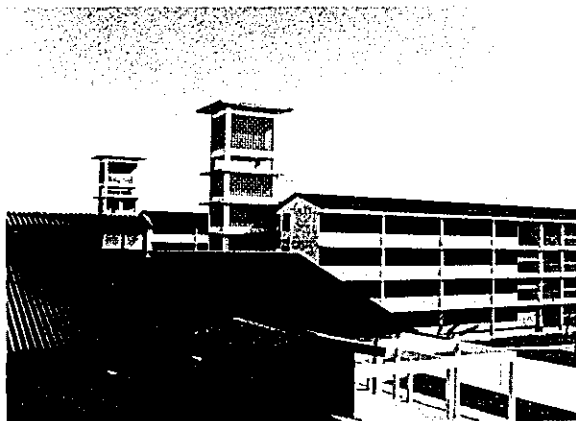
建物建設……………^{千円}1,007,770
建築面積……………6,481㎡
延建築面積……………9,410㎡
機材(無償供与)……………^{千円}898,000
技術協力供与機材……………^{千円}14,000

第一期・第二期

設計管理料……………^{千円}300,000

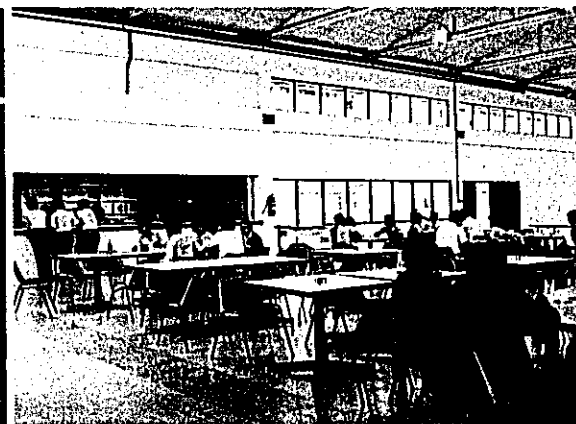
11. 主な施設

寮
(三棟あって
300名収容
できます。)



寮室内
(ツインルーム)
(150室)

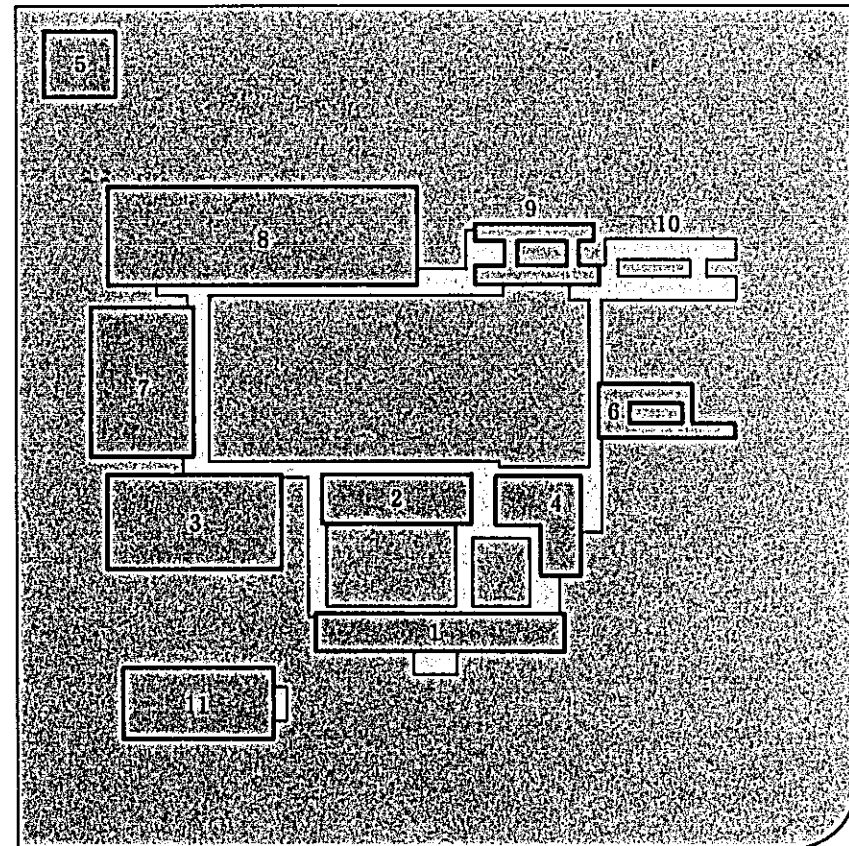
視聴覚教室
(CIAS
オープンハウス)



食堂
(朝 7:30より
夜20:00まで
常時利用できま
す。)

12. 建物配置図

- 1 ……………本 館
- 2 ……………教 室
- 3 ……………自 動 車 科
- 4 ……………食 堂
- 5 ……………鍛造・熱処理
- 6 ……………第 一 寮
- 7 ……………重 工 業 科(1 F)
- 電気電子科、計装自動制御科(2 F)
- 8 ……………工作機械、金型科・金属加工科
- 9 ……………第 三 寮
- 10……………第 二 寮
- 11……………ホ ー ル



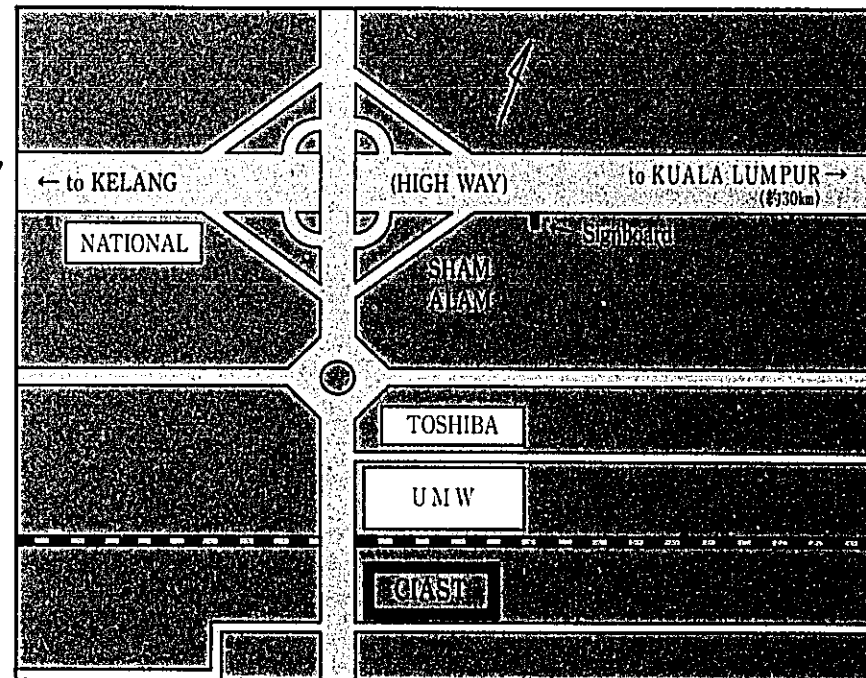
13. CIAST所在地

名 称 職業訓練指導員・上級技能訓練センター

THE CENTRE FOR INSTRUCTOR AND ADVANCED SKILL TRAINING

電話番号 502736, 502739

通信先 CIAST, SECTION 19,
P.O.BOX 12, SHAM ALAM,
SELANGOR, MALAYSIA.



JICA